



麓小学校便り

ふもとっ子



やさしく 思いやりがあり、素直な子
かしこく 話をよく聞き、考えがもてる子
たくましく 体を鍛え、粘り強い子

第12号

令和7年12月19日
文責 校長 松尾 天

麓ふれあい祭りについて

12月4日(木)～5日(金)に、恒例の「麓ふれあい祭り」を行いました。恒例とは言ったものの、私自身初めての経験で、計画の段階からとても楽しみでした。

【1年生】

「昔遊び」ということで、お手玉・おはじき・あやとりに挑戦しました。初めて経験する子どもおり、悪戦苦闘している様子がかわいらしかったです。また、地域の方々(名人さん)が披露してくださる妙技に、子ども達の視線は釘付けてした。その技を盗もうと、しっかり観察したりコツを尋ねたりする姿が印象的でした。

【2年生】

「昔遊び」ということで、竹とんぼ・こま・けん玉に挑戦しました。ここで驚いたのは、子ども達がけん玉が上手なことでした。私も全くかないませんでした。一方、コマはほとんどの子が初めてのようで、地域の方の熟練の技に見入っていました。何人かの子は自力で回すことができるようになり、楽しさをより実感しているようでした。

【3年生】

「竹とんぼ作り」に挑戦しました。今回は、簡易製作キットを用いた活動でしたので、飛ばし方のコツなどを地域の方(名人さん)に教えてもらうなど、「ふれ合い」に重点を置きました。実際に運動場で竹とんぼを飛ばす時には、名人さんよりも遠く・高く飛ばそうと何度も挑戦していました。あらためて、名人さんのすごさを実感していたようです。

【4年生】

「門松づくり」に取り組みました。竹を切る場面では、のこぎりの使い方のコツを地域の方々から習いながら、飾り付けの場面では、それぞれの子が思い思いの工夫を凝らしながら意欲的に活動する姿が輝いていました。完成したマイ門松を自慢気に友達などに見せている姿がとても印象的でした。

【5年生】

「お手玉づくり」に取り組みました。家庭科で学習した裁縫の技術を活かしながらの作業でしたが、子ども達にとっては「思った通りに進まない」というのが率直な感想のようです。しかし、そこは地域の方々の熟練の技と分かりやすいアドバイスのおかげで、乗り越えることができ、最終的にはどの子もお手玉を完成させることができました。自作のお手玉で遊ぶ瞬間は、児童にとって格別だったようです。

【6年生】

「餅つき」に取り組みました。これまでにあまり経験はないと思うのですが、途中からは子ども達だけでも上手に「こねる」(杵でつく前にある程度お米をつぶす作業)ことができるグループもありました。私も子ども達に交じってついてみたのですが、以外と腕や肩の力が必要で長く続けることはできませんでした。そんな私をよそに、元気につき続ける6年生を、やはり最高学年であり、とてもたくましく感じました。

初めて経験した「麓ふれあい祭り」でしたが、あらためて、地域の皆様の色々な形での多大な支えを強く感じました。本当にありがとうございました。このような地域の温かさにふれながら育ってきた子ども達です。学校教育目標である「ふるさとを誇りに思い」という内容の達成にもつながっていると考えます。重ねてありがとうございます。



1年 昔遊び(お手玉)



2年 昔遊び(けん玉)



3年 竹とんぼ



4年 門松づくり



5年 お手玉づくり



6年 餅つき